



ニプロ ライムソワ-

取扱説明書

FT-1203K/KD

FT-1553K/KD

**ご使用になる前に
必ずお読みください。**


この製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ずこの **取扱説明書** をお読みください。


- 間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。


松山株式会社


ニプロ製品をお買い上げいただきまして 誠にありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はライムソワ-の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書をよく読み十分理解されてから、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管し、常に読めるようにしてください。
- 製品を他人に貸したり、譲り渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、すみやかに弊社、またはお買い上げいただきました販売店・農協へご注文してください。
- 品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更をおこなうことがあります。そのような場合には、本書の内容、および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきました販売店・農協へご相談ください。
- 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な事項です。必ず守って作業をしてください。

 **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業をしていただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。ご使用前に必ず読んでください。

もくじ

安全に作業をするために	1
本製品の使用目的	5
保証書について	5
アフターサービスについて	5
補修部品と供給年限について	5
主要諸元	6
組立	7
トラクタの準備	8
トラクタへの装着	8
持上げ時の注意	9
移動、ほ場への出入り	9
作業時の注意	10
作業方法	10
保守管理	12
地球にやさしく	12
用語と解説	13

安全に作業をするために

ここに記載している注意事項を守らないと、死亡・傷害事故や、機械の破損の原因になります。よく読んで安全作業をしてください。

一般的な注意事項

警告 こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により作業に集中できないとき
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18歳未満の人

警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。
ヘルメット・すべり止めのついた靴を着用し、だぶつきのない服装をしてください。
【守らないと】機械に巻き込まれたり、すべって転倒するおそれがあります。

警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故、機械の破損をまねくおそれがあります。

警告 機械を他人に譲り渡すときは取扱説明書を付ける

機械と一緒に「取扱説明書」を渡し、必ず読むように指導してください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故、機械の破損をまねくおそれがあります。

警告 トラクタに作業機を装着するときは必ずトラクタの取扱説明書を読む

トラクタに作業機を装着する前に、必ずトラクタの取扱説明書を読みよく理解してから作業機の装着をしてください。
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

警告 重量バランスの調整をする

トラクタに重い作業機やアタッチメントを装着するときは、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調整をしてください。
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

注意 公道の走行は作業機装着禁止

トラクタに作業機を装着して、公道を走行しないでください。
必ず、作業機を外して走行してください。
【守らないと】道路運送車両法違反です。
事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 機械の改造禁止

改造をしないでください。保証の対象にはなりません。
純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

点検・整備の注意事項

⚠ 注意 点検・整備をする

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 注意 点検整備中はエンジンを停止する

点検・整備・修理、または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 点検整備は平らで固い場所でおこなう

交通の邪魔にならず安全で、機械が倒れたり、動いたりしない平らで固い場所で、点検整備をしてください。
【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 カバー類は必ず取付ける

装着のときや、点検・整備で取外したカバー類は、必ず取付けてください。
【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 目的に合った工具を正しく使用する

点検整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合ったものを正しく使用してください。
【守らないと】整備不良で事故を引き起こすおそれがあります。

作業時の注意事項

⚠ 警告 作業機の着脱は平らな場所でおこなう

作業機の着脱は、平らで固い場所でおこなってください。
【守らないと】下敷きになったり、ケガをしたりします。

⚠ 警告 トラクタと作業機のまわりに人を近づけない

トラクタのまわりや作業機との間に、人を入れないでください。
【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。
【守らないと】何かの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。

⚠ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。

【守らないと】何かの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。

⚠ 警告 アジテーターに巻き付いたゴミを取るときはエンジンを停止する

回転部分にゴミが巻き付いたときは、必ずエンジンを停止させ、巻き付きを外してください。

【守らないと】機械に巻き込まれて、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。

⚠ 注意 作業機の調整はエンジンを停止しておこなう

作業機の調整をするときは、作業機を下げ、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。

【守らないと】傷害事故や機械の損傷をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 重量バランスの調整をする

ライムソワーに肥料をいっぱいに入れたときは、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調整をしてください。

【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 傾斜地では、ゆっくり大きく回る

傾斜地での高速・急旋回は、転倒のおそれがあり大変危険です。

トラクタ速度を落とし、大きく回ってください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。

⚠ 警告 作業機の落下防止をする

作業機の落下を防止するため、油圧ストップバルブを完全に「閉め」てロックし、さらに作業機の下へ台を入れてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。

⚠ 注意 ホッパー内に肥料を入れたまま、トラクタからライムソワーを取外さない

トラクタからライムソワーを取外すときは、ホッパー内の肥料を必ず出してください。

【守らないと】ライムソワーが転倒し傷害事故の原因になります。

⚠ 注意 トラクタから取外すときは、最初に操作ボックスのコードを外す (リモコンタイプ)

最初に操作ボックスとライムソワーをつなぐコードのコネクターを外してください。

【守らないと】コードでライムソワーを引っ張り、ライムソワーが転倒し傷害事故の原因になります。

⚠ 警告 アユミ板は、強度・長さ・幅の十分あるものを使用する

積み、積降ろしをするときは、平らで交通の邪魔にならない場所でトラックのエンジンを止めます。動かないようにサイドブレーキをかけ、車止めをしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めの付いているものを選んでください。長さのめやすは荷台高さの4倍です。

【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 子供を機械に近づけない

子供には十分注意し、近づけないでください。

【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

格納時の注意事項

⚠ 注意 ライムソワー単体の転倒防止をする

スタンドを立て(ISを除く)スタンド止めピンで止め、Rピンで抜け止めをして、転倒防止をしてください。

【守らないと】転倒し傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 格納時はカブラを外す(4セットシリーズ)

格納するときは、必ずカブラを作業機から外し、地面に置きます。

【守らないと】誤操作で落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

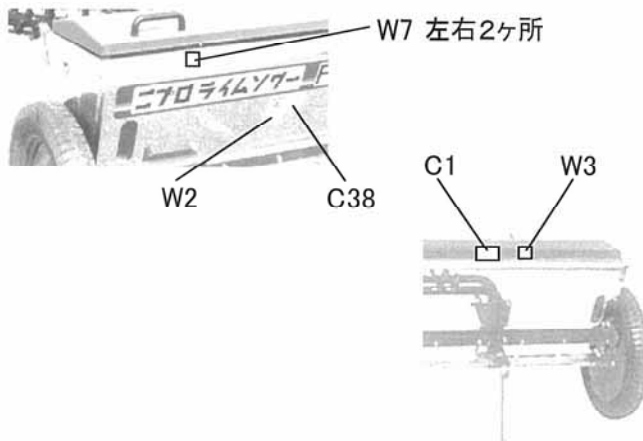
⚠ 注意 格納時はジョイントを外す

格納するときは、必ずジョイントを作業機から外し、地面に置きます。

【守らないと】誤操作で落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告ラベルの種類と位置

- ・警告ラベルは図の位置に貼ってあります。よくお読みになって安全に作業をしてください。
- ・警告ラベルは、汚れや土を落とし、常に見えるようにしておいてください。
- ・紛失または破損された場合には、お買い上げいただいた販売店、または農協へ下記型式、およびコードナンバーでご注文をお願い致します。



W7 8750 324000



W2 8750 317000



C38 8750 409000



C1 8750 318000



W3 8750 326000



本製品の使用目的

- ・このライムソワーは、水田や畑地での肥料散布に使用し、使用目的以外の作業には、決して使わないでください。使用目的以外の作業で故障した場合は、保証の対象にはなりません。
- ・ライムソワーは決められた適応馬力で設計しています。適応トラクタ馬力の範囲内で使用してください。範囲を超えての使用は故障の原因となり、保証の対象にはなりません。
- ・ライムソワーは「標準3点リンク」と「日農工特殊3点オートヒッチ」規格で設計しています。他の規格では装着ができません。
- ・ライムソワーの改造は決しておこなわないでください。保証の対象にはなりません。

保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられるときに必要となるものです。

お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは、この取扱説明書を参照し点検してください。点検・整備しても不具合がある場合は、お買い上げいただいた販売店・農協、または弊社までご連絡ください。

- ・ご連絡いただきたい内容

(1)型式名と製造番号

- ・ネームプレートを見てください。

(2)ご使用状況

- ・ほ場の条件は、石が多いですか？
強粘土ですか？

- ・トラクタの速度は？

- ・PTOの回転数は？

(3)どのくらい使用されましたか？

- ・約□□アール、または □□時間

(4)不具合が発生したときの状況をなるべく、

- くわしく教えてください。

補修部品と供給年限について

- ・補修部品は、純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や性能に影響する場合があります。
- ・この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などご相談させていただく場合があります。

主 要 諸 元

型 式 ・ 区 分		FT1203K	FT1203KD	FT1553K	FT1553KD
駆 動 方 法		車輪駆動			
機 体 寸 法	全 長 mm	670	1309	670	1309
	全 幅 mm	1481		1858	
	全 高 mm	1210			
機 体 質 量 kg		100	95	120	115
適 応 ト ラ ク タ kW (PS)		7.4 (10)~11.0 (15)		11.0 (15)~17.7 (24)	
装 着 方 法		3P直装 JIS.0	けん引ヒッチ	3P直装 JIS.0	けん引ヒッチ
作 業 幅 Cm		120	120	155	155
作 業 速 度 km/h		3~6			
作 業 能 率 分/10a		10~21		8~16	
ホ ッ パ ー 容 量 斗		170		220	
消 石 灰 (20kg) 袋		8		10	
化 成 肥 料 (20kg) 袋		7		9	
散 布 量 kg/10a		50~600			
散 布 量 調 整		シャッター横移動			
排 出 口 数		13 口		17 口	
散 布 口 間 隔 mm		94			
タ イ ヤ 径 mm		620			
常 装 備 品		粒状用シャヘイ板			

※本主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

組立

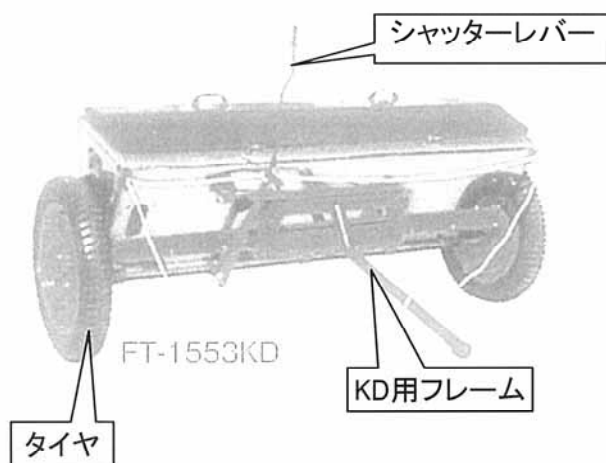
⚠ 注意

- ・組付けは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
- ・組付けが終わったら、適正な工具を使い、確実にボルト、ナット類を締付けてください。

- 1 ホッパー部分を左右2ヶ所、クレーン又はチェンブロック等で吊上げてください。
下の写真を参考に組付けてください。
- 2 タイヤを両脇に組付けます。
- 3 KD用フレーム(けん引棒)、K用フレーム(3点リンク用)を組付けます。
- 4 K仕様はスタンドを組付けます。
- 5 シャッターレバーを組付けます。
- 6 KDはロープでシャッターレバーをしぼり、両脇の穴を通して端を運転席周辺につなぎます。

注意 ロープは、たわみ過ぎ、張りすぎ、巻き込み等に十分注意してください。

機械の損傷をまねくおそれがあります。



トラクタの準備

⚠ 注意

- ・トラクタの取扱説明書「3点リンクの規格」をよく読んでください。
守らないと、機械の損傷やケガの原因になります。

KD仕様

- 1 型式末尾 KD 仕様はけん引用です、けん引ヒッチがないと装着できません。

K仕様

- 1 型式末尾 K 仕様は標準3点リンク規格です、トラクタの3点リンクも標準3点リンクでないと装着できません。
- 2 特殊3点規格の場合は、特殊3点リンク用トップリンクブラケットを外し、トップリンクを標準3点リンク用のものに交換してください。両側にねじの付いたもので、長、短の調整のできるものを使用してください。
- 3 作業機の上がり量、下がり量が不足する場合は、リフトロッドの取付穴位置を上下の穴に移して調整してください。
 - ・上の穴は上がり量が増え、下の穴は下がり量が増えます。

トラクタへの装着

⚠ 警告

- ・ライムソワーの装着、取外しは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
 - ・トラクタのまわりやライムソワーとの間に人が入らないようにしてください。
 - ・ライムソワーの下にもぐったり、足を入れたりしないでください。
 - ・ライムソワーに、肥料をいっぱいに入れたときは、トラクタメーカー純正のバランスウェイトをつけて、バランスを調整してください。
- 守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

⚠ 注意

装着は、平坦で足場の良い固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で、トラクタのエンジンを停止して、駐車ブレーキを掛けておこないます。

1 FT-1203KD/1553KD

- 1) 型式末尾KDは、けん引ヒッチ方式です。
- 2) トラクタのけん引ヒッチにライムソワーのけん引桿を取付けます。
- 3) 取外しは、ライムソワーのけん引桿をけん引ヒッチから外します。

注意 3点リンクはロープ等で左右をつなぎ、トップリンクは外してください。

2 FT1203K／1553K

- 1) 型式末尾Kは、3点リンク直装です。
- 2) トラクタの左ローリンクに左ローピンを取付け、右ローリンクに右ローピンを取付けます。
必ずリンチピンで抜け止めをします。
- 3) トップリンクをライムソワーのマストにトップリンクピンで取付けます。
必ずリンチピンで抜け止めをします。
- 4) ライムソワーが垂直になるように、トップリンクの長さを調整します。
- 5) スタンドを上を上げて、90度まわしてRピンで固定します。
- 6) トラクタの中心に合せて、左右均等に10～20mm振れるようにチェックチェーンで振れ止めをします。
- 7) 取外しは、2)～5)の逆に外します。

持上げ時の注意

⚠ 注意

・トラクタの取扱説明書「3点リンクおよび油圧関係」をよく読んでください。
守らないと、機械の損傷やケガの原因になります。

- 1 トラクタへ装着した時は、「最上げ時に」トラクタとライムソワーのレバーがぶつからないように、油圧をゆっくり上げながら確認します。ぶつからない所で「上げ規制ストップ」を止めます。
特にキャビン付トラクタの場合は、背面のガラスを突き上げないように注意してください。
- 2 トラクタにより、スイッチで「最上げ」まで自動上昇する機種があります。作業機が勢いよく上がるため、トラクタ後部と作業機の突出部(レバー等)が100mm以上間隔が開くように、上げ規制をしてください。

移動、ほ場への出入り

⚠ 警告

- ・トラクタにライムソワーが付いていると後が長くなり、横幅も広がります。まわりの人や物に注意して旋回してください。
 - ・高速走行、急発進、急停止はしないでください。旋回する時はスピードを落とし、急旋回はさけてください。
 - ・運転者以外の人や物をのせないでください。
 - ・子供には十分注意し、機械へは近づけないでください。
 - ・急な上り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなりとても危険です。トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付けてください。
 - ・あぜ越えや段差を乗り越える時は、アユミ板を使用し、地面に接しない程度にライムソワーを下げ重心を低くしてください。使用するアユミ板は、強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めのあるものを選んでください。
- 守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

⚠ 注意

・トラクタにライムソワーを装着して、公道を走行しないでください。
守らないと、「道路運送車両法」違反となり、事故を引き起こす原因になります。

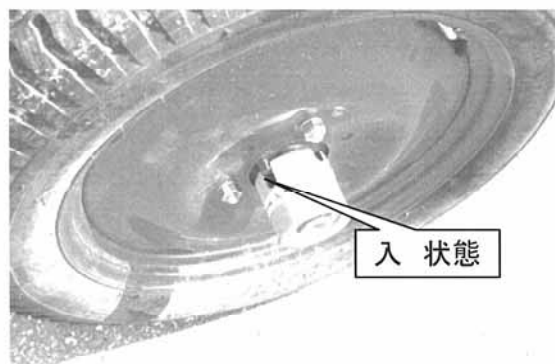
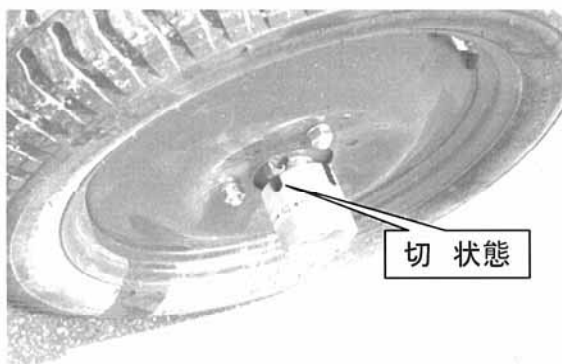
- 1 移動の時は、ライムソワーを油圧でいっぱい上げ、油圧ストップバルブを完全に閉め、下がるのを防ぎます。(K仕様)
- 2 ほ場への出入りは直角に、ゆっくり前進でおこないます。急な上り坂は後進でほ場に入り、前進でほ場から出る場合もあります。(K仕様)
- 3 ライムソワーに肥料を入れての走行はしないでください。肥料がホッパー内で目詰まりして均一に肥料散布が出来なくなります。

作業時の注意

- 1 肥料、石灰を入れるときは、石等硬い物が入らないようにして、もし入ったら取除いてください。
- 2 肥料を入れたまま、散布しないで長い間走行はしないでください。肥料が目詰まりして均一に肥料散布が出来なくなります。
- 3 作業中は、周囲に補助者や他人を近寄らせないでください。
- 4 旋回は速度を落とし、急旋回はせずに余裕を持って行ってください。
- 5 ライムソワーへの雑物の絡みを取除く時は、必ずトラクタのエンジンを停止させてください。

作業方法

- 1 作業速度は、3～6km/hが標準です、余裕を持った速度で行ってください。
- 2 進行方向左側のクラッチを入切を行います(外に引いて回転させます)下の写真を参照ください。
- 3 付属のシャヘイ板は粒状物、たとえば化成肥料を散布する時のみ使用します。粉状物(石灰等)の場合は使用しないでください。



4 散布量は、KD仕様はロープを利用してシャッターを開閉して調整します。

K仕様はシャッターレバーを開閉して調整します。

シャッターレバーの側方に開度目盛があります、下記の表を参考にシャッター開度を調整します。

下表は 10a/kg の散布量です、目安として参考にしてください。

注意 落下量は肥料の種類や粒の大きさにより異なりますので、実施にあたっては、単位面積を散布してみてからの結果を参考にしてください。

5 開度が決まったら、シャッターレバーのストッパーを固定します。

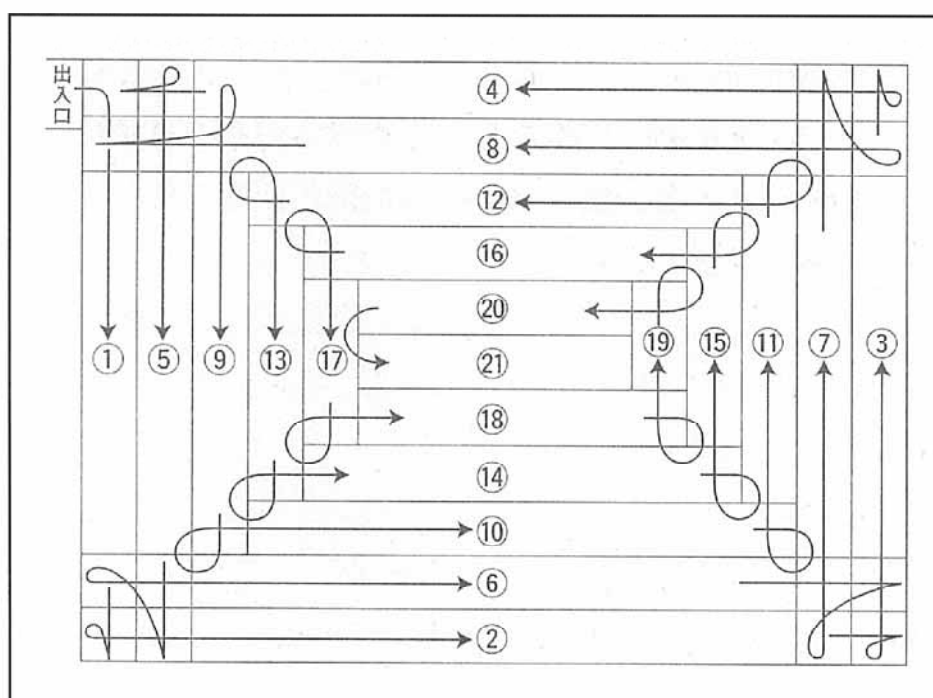
目安表

シャッター開度	1	1.5	2	2.5	3	4	5
消石灰 (kg)		60	100	190	250	500	600
化成肥料 (kg)	50	120	300	550			

作業方法

ここでは、一般的な方法を説明します。ほ場の形や大きさによって作業を進めてください。

- ・①～⑧までの工程は、作業を行い止ったところでバックして方向転換を行い作業を続けます。
- ・⑨からは、スピードを落として下図のように、前進で方向転換を行い作業を続けます。



保守管理・点検整備

長くお使いいただくためには、日常の保守管理が大切です。

⚠ 警告

- ・点検・整備をする時は、交通の邪魔にならず安全なところを選んでください。機械が動いたり、倒れたりしない平らな固い場所で、トラクタの前輪には車止めをしてください。
- ・点検・整備をする時は、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してから行ってください。
- ・ライムソワーの落下を防止するため、油圧ストップバルブを完全に「閉めて」ロックし、ライムソワーの下へ台を入れてください。
- ・ホッパー内のアジテーターや回転部分に草やワラが巻き付いたときは、必ずエンジンを停止させ、巻き付きを外してください。

守らないと、死亡事故や傷害事故の原因になります。

- 1 使用後は、すぐに水洗いをして肥料を落とし、水分を拭き取ってください。
- 2 シャッターのスライド部には注油して拭き取ってください。
- 3 シーズン終了時には、整備を行い消耗部品は早めに交換してください。
- 4 格納時は、屋根のある乾燥した場所で、地面に直接置かず角材などの上に安定した状態に格納してください。

地球にやさしく

●使用済みのオイルをむやみに捨てると環境汚染になります。

- (1) オイルを排出する時は、必ず容器に受けてください。地面へのたれ流しや川への破棄は絶対にしないでください。
- (2) 廃油・各種ゴム部品などを捨てる時は、お買い求めの販売店や農協にご相談ください。

用語と解説

アタッチメント

作業機に後付けする製品

オート装置

作業機の均平板の動きをセンサで感知して、トラクタに電気または機械信号で伝え、トラクタの油圧を自動的に作動させ、作業深さを一定に規制する装置

オートヒッチ、カプラ

トラクタに乗ったままワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

オートパワーオフ機構

電源を切り忘れても、8時間後自動的に電源が切れる機構

クリーブ(速度)

超低速の作業速度

耕うん爪取付方法

1 フランジタイプ

耕うん軸の板(フランジ)に、耕うん爪1本に対して、ボルト2本(組ボルトは1個)で取付ける方法

2 ホルダータイプ

耕うん軸のホルダー(ブラケット)に、耕うん爪を差し込んで、ボルト1本で取付ける方法

耕深

耕うんする深さ

コネクター

コードとコードとをつなぐ接続口

サーキットブレーカ

電流が設定値より過大になると回路を遮断するもので、一時的に回路の損傷を防ぎます

3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持を行うリンク

シャーボルト

作業の継続が困難な故障から伝動系を保護するために使用してある切断用のボルト

ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

ターンバックル

トップリンクの短い物(長さの調節ができる)

ダッシング

耕うん爪の回転でトラクタが前に押され飛び出すこと

チェックチェーン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェーン

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

ハイリフト(ニプロロータリー 10シリーズ)

フレームパイプの連結ロット取付位置と、均平板下部の頭付ピンが取付けてある位置を、連結ロットでつなぎ、均平板をはね上げる事(はね上げの方法は、均平板の調整の項参照)

ブラケット側

チェーンケースの反対の軸受側

ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

ミニモーション

電気(バッテリー)を利用して、モータで油圧ポンプを作動させ、シリンダを伸縮させる装置

メカニカルロック

機械的に固定する

揚力

トラクタが作業機を上昇させるための力

リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためロワーリンクと連結しているアーム

リリーフ状態(音)

シリンダーが最縮および最長時、これ以上伸び縮みできないときに音が変わったとき

リリーフ弁

油圧装置に規定以上の油の圧力がかかり油圧装置が破損することを防止する弁

ロワーリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊り下げているリンクで左右1本ずつある

松山株式会社

本社	〒386-0497 長野県上田市塩川5155	☎(0268)42-7500	FAX(0268)42-7556
物流センター	〒386-0497 長野県上田市塩川2949	☎(0268)36-4111	FAX(0268)36-3335
北海道営業所	〒068-0111 北海道岩見沢市栗沢町由良194-5	☎(0126)45-4000	FAX(0126)45-4516
旭川出張所	〒079-8431 北海道旭川市永山町8丁目32	☎(0166)46-2505	FAX(0166)46-2501
帯広出張所	〒082-0004 北海道河西郡芽室町東芽室北1線18番10	☎(0155)62-5370	FAX(0155)62-5373
東北営業所	〒989-6228 宮城県大崎市古川清水3丁目石田24番11	☎(0229)26-5651	FAX(0229)26-5655
関東営業所	〒329-4411 栃木県下都賀郡大平町横堀みずほ5-3	☎(0282)45-1226	FAX(0282)44-0050
長野営業所	〒386-0497 長野県上田市塩川2949	☎(0268)35-0323	FAX(0268)36-4787
岡山営業所	〒708-1104 岡山県津山市綾部1764-2	☎(0868)29-1180	FAX(0868)29-1325
九州営業所	〒869-0416 熊本県宇土市松山町1134-10	☎(0964)24-5777	FAX(0964)22-6775
南九州出張所	〒885-0074 宮崎県都城市甲斐元町3389-1	☎(0986)24-6412	FAX(0986)25-7044